

令和3年度 嘉数小学校の取り組み

1 研究主題

書く活動を重視した表現力の育成
～6年間を通したフォニックス指導を通して～

2 研究主題設定の理由

令和2年度に小学校学習指導要領が全面実施されたことにより、中学年では、週一時間の外国語活動として「聞くこと」と「話すこと [やり取り] [発表]」の2技能3領域を学習し、高学年では、週二時間の外国語科として「読むこと」と「書くこと」が加わり、4技能5領域を学習している。本校では、低学年から週一時間の外国語活動を実施しており「聞くこと」と「話すこと」を中心とした活動を通して外国語に出会い、中学年の学習へとつなげている。これまで小学校高学年の指導対象ではなかった「読むこと」「書くこと」の技能についても、中学校への接続を図ることを重視し、特に、「書くこと」の指導を重点的に行っている。

『宜野湾市小学校外国語活動学習指導要領 第2 小学校での英語の目標及び内容等 エ 書くこと (イ) フォニックスを通して簡単な単語を識別し、正しく書くこと』を参照に、フォニックスの指導を通して、目標である、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーションの素地を養っていきたいと考える。また、低学年から継続してフォニックスの指導を行うことで、高学年の外国語にスムーズにつなげることができると考える。フォニックス指導を通して発音方法を学習することにより、単語のスペルをつづることができるように指導していきたい。そして、書くことのできるようになった単語を用いて、自分の体験や思いを適切に表現できる力を身につけていきたいため、昨年度に引き続き本主題を設定した。

3 主な研究内容

(1) 各学年におけるフォニックス指導とライティング指導内容

学年	指導内容
1 学年	【英語の歌やゲームを通して、英語の発音や文字に出会う】 ・英単語の発音 ・歌 ・ダンス
2 学年	【英語の歌やゲームを通して、英語の発音や文字に慣れる】 ・Jingle ・Alphabet song ・アルファベットを体で表現しよう ・ぬり絵 (大文字)
3 学年	【英語の歌やゲームを通して、英語の発音や文字に慣れ親しむ】 ・Jingle ・大文字の形を知る ・大文字を読む ・自分のイニシャルを書く
4 学年	【英語の歌やゲームを通して、より文字に興味を持たせる】 ・フォニックスゲーム ・小文字の形を知る ・小文字を読む ・大文字、小文字の順番を覚える ・形が似たような文字の認識
5 学年	【Sounds and letter を通して、似たような文字を認識し区別して発音する】 ・フォニックスゲーム ・教科書のドリル (Sounds and letter) ・紹介文の書き方や発表の仕方を知る
6 学年	【Sounds and letter を通して、より多くの似たような文字を認識し区別して発音する。】 ・フォニックスゲーム ・教科書のドリル (Sounds and letter) ・紹介文の書き方や発表の仕方を慣れ親しむ

(2) 指導方針 (発達段階に応じた系統的な指導により、表現力の向上を図る)

- ①フォニックス指導は宜野湾市が示している内容を進めていく (※指導は5分程度)。
- ②ライティング指導においては、小学校独自のものではなく、中学校でのライティング指導を見据えた4線を使用してALT・JTE共に指導している。
- ③振り返りシートに単元のトピックを3学年からなぞり書き、6学年から写し書きをすることで、書くことへの抵抗をなくすように指導している。

4 学習指導案

第2学年 外国語活動学習指導 Happy New Year 1/1

- (1) 本時のねらい 海外の正月の風習を知り、新年の遊び（福笑い）をする。【知識・技能】
 (2) 言語材料 A happy new year 2022 / tiger / horse / sheep / eyes / ears / mouth / nose / cheeks / eyebrows (9語)
 (3) 展開

過程	○学習活動, 内容, 発問		・予想される児童の反応 「児童の言葉」	●指導上の留意点 ☆評価		
	HRT	JTE				
導入 11分	1 はじめのあいさつ 3 Questions 正月のキーワード A happnewyear2020 干支のキーワード tiger, horse, sheep		・週替わりでリーダーが「What day is it today?」「How's the weather today?」 「How are you today?」を問いかけ、児童が答える。 ・動画を見ながら Alphabet の歌を歌う。 ・めあてを復唱する。	●「How are you today?」の質問の後は、児童がリーダーに質問する。 ●児童の干支の確認をする。 ●気持ちの乗らない児童の近くで一緒に歌う。 ●はじめのあいさつから学習内容を予想し、めあての言葉を引き出す。		
	○授業の進行	○掲示物や PC の確認 ○授業進行の手助け				
	2 Jingle/Alphabet					
	○一緒に歌う	○PC 操作, ジェスチャーつきで一緒に歌う				
展開 30分	3 めあて お正月あそびをしよう		・めあてを復唱する。	●はじめのあいさつから学習内容を予想し、めあての言葉を引き出す。		
	○めあての板書					
	4 Quiz around the world Let's play a quiz!				・画像を見て三択でクイズに答える。 ・JTE の発音を真似て「eyes, ears, mouth, nose, eyebrows」を復唱する。 ・JTE の発音を復唱して、ペアに渡し、福笑いを仕上げる。	●クイズの意味が分からない児童にヒントを出す。 ●顔のパーツ名を発音して渡す児童と、受け取ったパーツで福笑いを仕上げる児童のペアになる。
	○クイズの説明の確認	○PC 操作, クイズの説明・出題				
5 Revier Let's review the words.						
○児童と一緒に JTE の発音したことを復唱	○顔のパーツを黒板に貼り, 発音					
まとめ 4分	6 Activity 福笑いゲーム		・「顔のパーツを英語で言えるようになりました。」 ・「外国の正月のことが出来ました。」 ・「福笑いをつくるのが楽しかったです。」	☆英語で顔のパーツの言い方を知る。 【知識・技能】(行動観察)		
	ゲームの説明の確認	○ゲームの説明				
	7 ふり返り					
	○今日学習したことの発表を児童に促す					
	8 終わりのあいさつ					
	○授業の進行	○授業進行の手助け				

5 各学年の活動の様子

【低学年】1年:英語の発音に出会う 2年: 英語の発音に慣れる 大文字の形を知る

1年: フルーツ めあて:好きなフルーツを聞いたり答えたりしよう!



フルーツの名前の練習後、フルーツバスケットゲームをしている様子

♪

導入として、トピックに関連する歌をよく歌います。1年生は歌と踊りが大好き!

様々なゲームを通して英語を身近に感じながら、トピックに関する英語表現を習得しています。

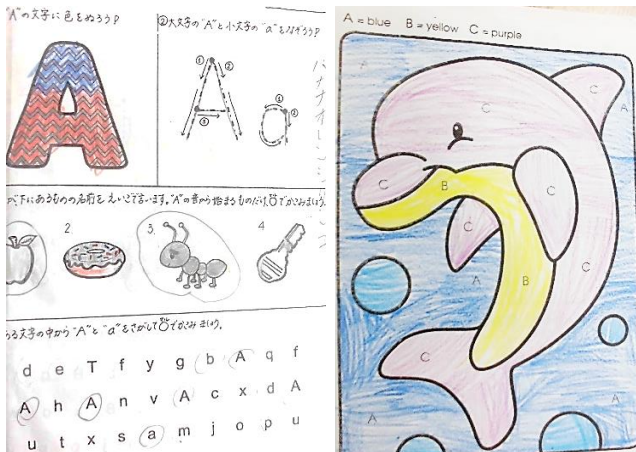
2年 Jingle, Alphabet 文字の塗り絵, ABC を体で表そう!



2年生になって初めて Jingle に挑戦。リズムに合わせて発音するのがとっても上手♪



アルファベットの大きな文字の形を認識するため、アルファベットダンスを踊ります。



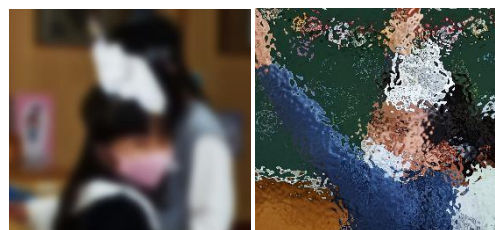
アルファベットの文字に親しみを持つため、文字の色塗りやクイズに挑戦!



Valentine's Day は、家族や友達、先生などに日頃の感謝を伝える日でもあることを確認後、家族へバレンタインカードを作成し、1人ずつ簡単な英語で発表しました。

【中学年】3年: 英語の発音・文字に慣れ親しむ 4年: より文字に興味を持たせる

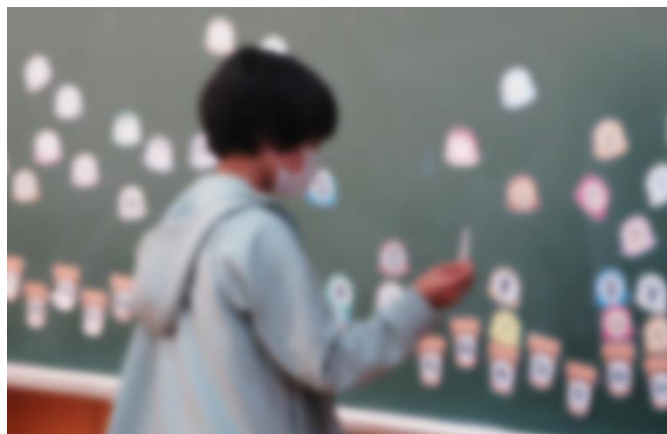
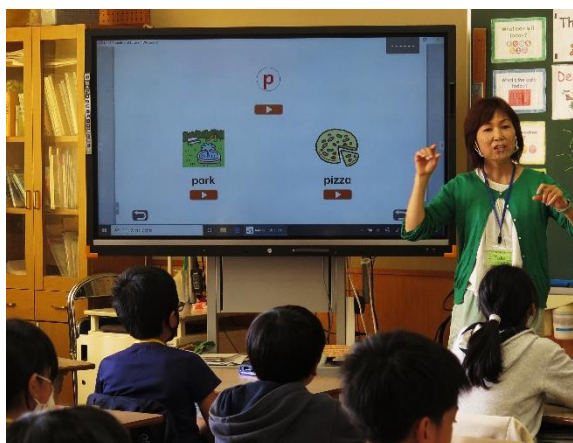
3年: 2年生に引き続き Jingle で音に慣れ親しむ。初めて振り返りシートを使用し、毎回単元のトピックのなぞり書きをする。大文字の形や書き方に触れ、自分のイニシャルを書く。



Jingle (動物編) に出てくる動物のお面をつけて、自分の番がきたら復唱する。

★Alphabet の大文字を習う単元では、自分の名前前のイニシャルを書きます。自分の名前とあり、うれしそうに書く児童の姿があった。

4年: 発音練習及びフォニックスゲームを通して音や文字への興味関心を持たせるようにした。アルファベットの単元では、小文字を中心に学び、似たような形の大文字・小文字を識別できるようにゲームを通して学習した。



アルファベットの文字名と発音が違うことを理解できるように、「P」だったら、「p」の音が入る単語を1分と言っていき、クラス対抗で競い合う。文字への興味関心が高まり、普段の授業でも新しい単語を読む時に文字を見て読もうとする児童が増えた。

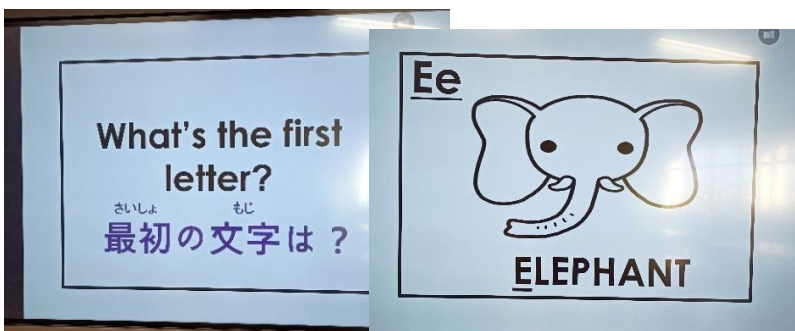
-アルファベットマッチングゲーム-
形の似ている小文字や、大文字と小文字で似ている文字など間違えやすい文字は、同じグループで声を掛け合い手直ししつつ、ゲームを進める児童。グループごとに、作戦を練り早く正確に行なおうとする態度が見られた。

【高学年】◎Sounds and letterを通して、音の違いを認識し区別できるようにする。

5年生は、“ONE WORLD Smiles”内にある、Sounds and Lettersのコーナー活用の他、下記のような取り組みを行った。



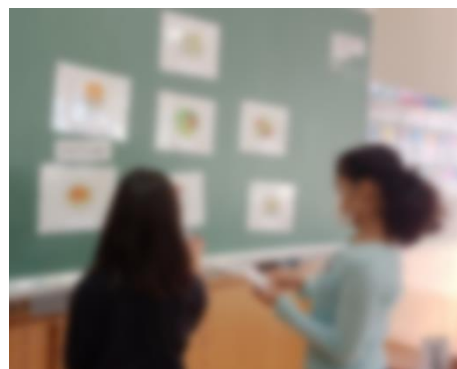
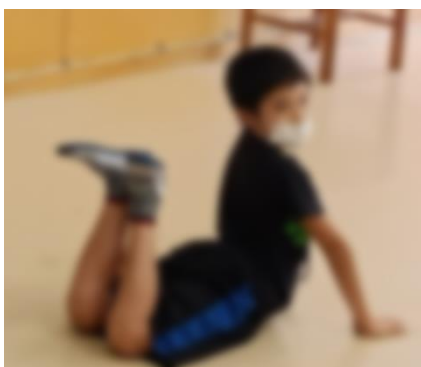
Jingleで基本の音に慣れる。



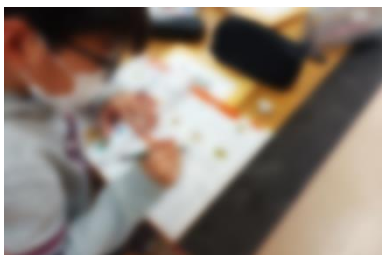
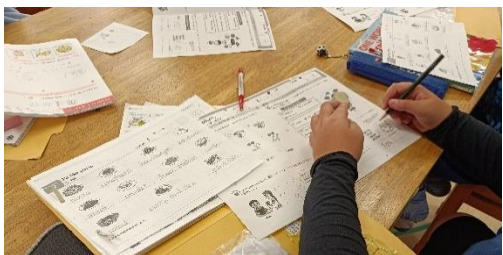
普段聞きなれている英語の音と文字を一致させるためのクイズ。何度も行うことで、文字への関心が高まり、新しい単語も文字を意識するようになった。



文字に対して親しみをもたせるため、体で文字を表す。児童ならではのアイデアが沢山あり盛り上がった。

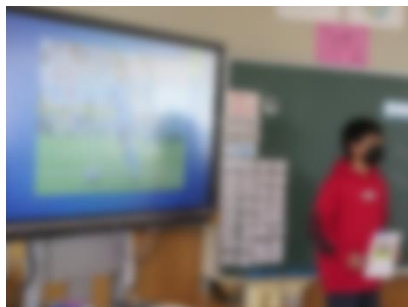


メニューのイラストと文字を一致させるクイズに挑戦。



なぞり書き，単元テスト等細やかなライティング指導を行った。

6年生は、“ONE WORLD Smiles”内にある、Sounds and Lettersのコーナー活用の他、フォニックスに関しては4年生と同じPhonics Gameを行い、文字指導に関しては単元ごとにプレゼン用のライティングシートを丁寧に仕上げることを心がけさせた。プレゼンテーションではできるだけ実際の状況に近づけて発表するようにし、児童は1年を通し相手を意識したプレゼンを行えるようになった。



★振り返りシート★

[5 学年] 例えば7時間ある単元では、最初の4時間に単元のトピックのなぞり書きをし、その後2時間に自分でお手本を見ながら書くようにしている。

[6 学年] 最初の第1単元だけは5年生と同じ様に行い、それ以降の単元では、JTEが毎時間書く内容を決め、黒板に書いた1文を児童が書き写すようにしている。

6 成果と課題・対応策 (○成果 △課題 ☆改善策)

低学年

○英語の音の聞き取りが柔軟で得意なこの時期に、沢山の歌やジングルを聞いたり歌ったりしたことで英語耳を育てることができたと思う。また、ABCダンスやABCソングを通して文字への関心意欲が高まった。

△コロナ渦とあり、1年生は大分活動を制限した部分があり、ゲームなどをして楽しみながら進めることがいつもより難しかった。

☆ジェスチャーゲーム、ぬりえ、クイズなどの楽しみながら活動できるアクティビティを取り入れていく。

中学年

○振り返りシートでのトピックのなぞり書きは、高学年でのライティング授業への抵抗感を減らすことになんかなり成功している。また大文字小文字ゲームなどを通して文字の形や配列、発音の仕方などを通じて文字への関心が高まった。

△フォニックスゲームは、授業のウォーミングアップも兼ね3~4分としていたが、白熱し過ぎて時間をオーバーすることがあった。

☆フォニックスゲーム後に、「他にも言いたかった人？」と聞くと時間がかかるため担任と協力し3分程度に終わらせる。

高学年

○sounds and lettersにおいて、音の識別に慣れ親しむことができた。5年生での文字慣れはクイズやライティングなどを通してかなり効果を上げ来年に上手くつなげられていると思う。

○6年生は単元ごとにプレゼンを行うことで最初から見通しをもって授業に臨むことができた。ライティングに関してはタブレットを使用しスペルチェックや自分の言いたいことを言えるように自分なりに文章構築を試みたりして、児童自らによる思考を深める機会が増えた。

○6年生は昨年度業者から購入したテストを採用したが、簡単すぎるという児童の声が多くあったため、今年は教材に付随した単元テストを採用し、さらにライティングは少し難しく別途作成し、スピーキングテストも追加して、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングと満遍なく力を伸ばせるように工夫した。

△5年生は、業者から購入したテストを今年度も採用したが、簡単すぎるという児童の声が上がっているので次年度は検討したい。

☆6年生のように、教材に付随した単元テストを手直しするなど、手を加えたテストを使用するとよいかも知れない。